

定員 40名

VRはバーチャル・リアリティ(仮想現実)の略。  
ゴーグルをつけ、認知症のある方が日常でどのよ  
うに感じているのかを本人視点で体験できます。



知ることは、支える力になる

# VR認知症体験会

4月19日(日) 14:00~15:30

(受付 13:30~)

場所 イオン大木店内100円ショップ前

対象 どなたでも

内容：VR体験

グループディスカッション

講師：株式会社シルバーウッド

参加費 無料



問い合わせ・申し込み先

※参加には事前申し込みが必要です。

大木町役場 福祉課 ☎ 0944-33-0657



認知症になると想いを表に出しづらくなり、代わりに起こす行動が“周囲には理解できないもの”と映ってしまうことが多くあります。

表面的な行動は「徘徊」「帰宅願望」「入浴拒否」「暴力・暴言」などの様々な言葉で表され、“認知症だから起こすもの”と思われがちです。しかし、認知症がある方を取り巻く「問題」とされるものは、ご本人の問題ではなく、ご本人を取り巻く周囲の理解やコミュニケーションが大きく影響していることが多いということを、ご本人の視点を体験することで理解につなげることを目的としたプログラムです。(体験人数180,000人 2025年3月現在)

「認知症を学ぶ」のではなく「認知症を体験する」ことで認知症のある方への理解を深めることを目指しています。

VR認知症体験会は、参加人数分のVR機材と講師を派遣して実施する約90分の研修プログラムです。

90分で3つの症状を体験し、体験ごとに参加者同士で「本人の視点に立ったときに何を感じ何を思ったか」を話し合い、認知症がある方を取り巻く環境をどの様に変えることが状況改善につながるのか意見を出し合い、さらに制作協力いただいている認知症当事者の方のインタビューを聞きながら認知症がある方を取り巻く問題の本質に迫る内容です。



グループディスカッション



当事者インタビュー